



東京消防庁災害時支援ボランティア

ボランティア通信

【第130号】



知識と技術の伝承



東 村 山 消 防 ボ ラ ン テ ィ ア

7月13日（土）本署防災教室にて、第2回災害時支援ボランティアレベルアップ訓練（クンレンダーによる初期消火の都民指導要領）を実施しました。この訓練の目的は、防災訓練において、消防職員とともに初期消火の指導を行う際に必要な「初期消火の知識と技術の習得」です。今回は、テキストの読み合わせによる知識の再確認後に実技訓練を行うことで、短時間で指導技術を習得することができました。

また、指導者役・参加者役・見取りに分かれてそれぞれをローテーションしながら訓練し、その都度、ボランティア間で意見交換を行うことで、多角的な視点を得られ、指導時のポイントを理解することに繋がりました。新人ボランティアさんからは、「消火器の知識が増え、実際の指導をイメージした訓練ができて、指導することへの不安が解消されました。今後も訓練に参加していきたいです。」といった前向きな意見を頂けました。このような意見が頂けたのは、ベテランのボランティアさんが、自身の経験を踏まえた豊富な知識を経験の浅い方々に共有しており、実技訓練では、指導時のポイントを捉えたお手本となる姿を披露していたからだと思います。今後とも訓練等の機会を活用し、ボランティア間で災害時に役立つ知識を共有していただき、実災害時には、地域のリーダーとして活躍することが期待されます。

